

ほほ月刊 んだもしたん

(諸県弁の「まあとじつした事でしょう。」)

N. danioshifan

新年めげまじつなめいふんぱんぱん

旧年中は、大変お世話になりました。本年もよろしくお願ひ致します。

弊社は昨年も暗中模索が続きましたが、今年は楽しみな期待の出来る一年となりそうです。と申しますのも、コ(LED)アキュイティブプリンターを昨年末に導入する事が出来たからです。このプリンターには白インクやクリアインクが搭載されており、今

まで出来なかつた仕事が出来るようになります。例えば三層プリント(両面印刷)やグロス及びマット仕上げが可能となり、提案できる幅が増えるようになります。それよりも機器導入に加え本年よりしばらく離れていた優秀なスタッフが復帰してくれた事も期待を持てる大きな要因です。弊社のような零細企業は、社員一人ひとりの力が会社を大きく

発行 有限会社ナニッ
編集責任 中田 等
発行日 平成三十一年一月
問合せ先 〇九八五五二七四〇九

は運動が本当に苦手で、42・1955、考えただけで胸が苦しく、足が痛くなる。そんなマラソンに挑戦し、見事ゴールした仲間がいる。由希恵ちゃん。彼女は幼い時に白血病が発症し骨髄移植で生還した患者さん。小さな身体でポランテアに参加して、仕事をこなし、そして練習を積み重ね走りきった。去年は天候も悪く体調不良で途中棄権。頑張りやさんの彼女は日々練習に励み青太を迎えた。スマホで位置を確認しながら皆で応援する。残り10キロの時彼女は笑顔だった。苦しさと辛さとか微塵も感じさせず走

動かします。お得意様の期待に応える為に、モチベーションを高く保ち続ける事が出来ると思っております。本年も「んだもしたん」を通して情報を発信してまいります。その為には、幅広い業界の方々から様々なご意見&ご提案を頂きたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。最後にになりましたが、今年一年が皆様にとって最良の一年となりますようにご祈念申し上げます。(合掌) (等)

青島太平洋マラソン

私がポランテアで参加するように何年経つたろう。毎年色々なドラマが生まれ、感動をもらう。骨髄バンクを多くの人たちに知ってもらう為、小さな丸いピンクのシールを配り走る人達に貼ってもらう。スタート前の緊張した空気の中声をかけるのは少しだけ勇気がいる。でも毎年続けていると「今年も走るから頂戴」と言ってくたさる方も居る。色々な想いを胸にマラソン走者は木花に集まる。もちろん宮崎だけではなく、全国各地、飛行機に乗りホテルに泊まり、走る。私

は運動が本当に苦手で、42・1955、考えただけで胸が苦しく、足が痛くなる。そんなマラソンに挑戦し、見事ゴールした仲間がいる。由希恵ちゃん。彼女は幼い時に白血病が発症し骨髄移植で生還した患者さん。小さな身体でポランテアに参加して、仕事をこなし、そして練習を積み重ね走りきった。去年は天候も悪く体調不良で途中棄権。頑張りやさんの彼女は日々練習に励み青太を迎えた。スマホで位置を確認しながら皆で応援する。残り10キロの時彼女は笑顔だった。苦しさと辛さとか微塵も感じさせず走



「私も頑張らなきゃ」と気合が入ったような。由希恵ちゃんを始め沢山のランナーに、今年もありがたうの青島太平洋マラソンでした。(直)

ランニング部 見参!

「久しぶりに行ったけれどやっぱり旨いの巻」

自分が毎年数回、必ず食べに行く、又は、テイクアウトする、県外の店がいくつかあります。宮崎も美味しい餃子はありますが、茶びんの焼き餃子です。本県人吉市の中華料理の店「茶びん」の焼き餃子です。宮崎も美味しい餃子はありますが、茶びんの餃子は表面がパリパリで、中はジューシーなニラがたっぷり入ったヘルシーな餃子なのですが、これがとても美味しくてヤミツキになります。そして、この店のもう一つの名物は、おかみさんです。水前寺清子と松野明美を足して2で割ったような人で、芯の強い女性だろうと思われる。話を聞いていると口々に「おばさん丸出しですが、話を聞いていると口々に、そこがとても魅力的な人になります。通い始めて10年以上は、テレビにも紹介されて、休みの日の12時位に行くとなかなか食べる事が出来ないので時間をずらして行ったほうが良いと思います。ご主人が体調を崩されて、一時期休養していたこともあり、このお店がいつ

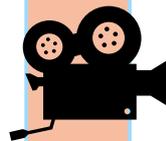
ていた。嬉しくて切なくて何だか涙が溢れて、感動という言葉じゃ何だか物足りないような、とても暖かい大切な何かをもらったような気がします。 「私も頑張らなきゃ」と気合が入ったような。由希恵ちゃんを始め沢山のランナーに、今年もありがたうの青島太平洋マラソンでした。(直)



まで続くのか心配になりますが、おかみさんも、歳だから餃子を作るのがしんどくなると言っていました。餃子1人前、450円で7個ですが、3人前頼むと大皿にちょうど入るボリュームになります。他に、太平燕(タイピーエ)やチャンポンも美味しいです。 今回の教訓、「久しぶりに行ったけれど、茶びんの餃子はやっぱり旨い!」(大)

写真はネットから引用

ボヘミアン・ラプソディー



高校生の時に、友達の勧めでQUEENのボヘミアンラプソディーを聴いた。

ピアノの美しい旋律から始まって、急にオペラが始まる。オペラからロック調に変わった瞬間、ギターで頭を殴られたような強烈なインパクトがあったことを覚えている。

つい先日、ボヘミアンラプソディーを見てきました。今は亡き、QUEENのボーカル、フレディ・マーキュリーの物語です。

絶対見に行かねばと楽しみにしておりました。観賞後の感想は、最&高でした！ 映画館でQUEENの曲が大音響で奏でられ、実物の音源を使ったヒットナンバーがもたらす高揚感は半端ない！

エンターテインメントを見た来たのかなと思わせるような展開から、フレディの栄光と挫折、孤独感、メンバーとの確執、スタッフの裏切りと葛藤…フレディの生きざまを音楽を交えながら物語が進んでいきます。

あれだけのスポットライト



を浴びながら、それでもまだどこかで自分の居場所を探している。

華々しい世界にいる人間は光を浴びている分、大きな影が出来てしまう… 私はそう感じました。

ラスト20分のライブ映像は心揺さぶられました。必見です！ また見たいと思わせてくれる私なりの昨年一番の映画だったように思えます。

まだ一時は映画館で観賞できると思います。このライブ映像は映画館で大音響で聴くべきです！ (光)

いんちきクワイマーが行く！

「くじゅうでテント その2」編

ピンチ！両足がツリ立往生。

激痛にひたすらじっと耐えます。原因は明白。暑さ、装備の重さ、オーバーワーク、水と塩分の不足。その場に寝っ転がり、回復を待ちます。何度も経験済みとはいえ、今回はちょっと深刻です。40分ほどかけて、なんとか歩けるまでに復旧。大いに反省です。

両足の攣りから無事に復活して、歩き出してすぐに藪漕ぎを抜けて通常の登山路へと転がり出ました。段原の分岐です。空はいつ降ってもおかしくないほどに黒々としています。ここにザックをデポして、身軽になって一気に大船山頂へ。身体が軽いとやる気も回復します。びゅーっとあっという間に山頂です。

あ、雨。いよいよ降り出しましたぞ。段原まで駆け降りると、再び重たいザックをかき、目的地の坊がつるへと降りていきます。

しかしまあ、この下りの長いこと。絶対登りには使いたくない路だなあ。ズルズルすべる下りに悪戦苦闘。こけて転んで泥だらけ。おまけに手のひらをザックリ切って出血。とにかく降りねばならん。長い長い下りの路をおえ、目の前に坊がつるの草原と、楽しみにテントを立てている人たちが見えた時は、心底、ほっとしました。

近くの沢におりて、冷たい水で、泥をおとし、キズ口を洗い、消毒して圧迫。大きい絆創膏で治療。いやまいった。今回はやはりポロポロやん。

炊事場近くの、テントでにぎわう場所まで歩いていくと、家族連れ、カップル、夫婦、学生、老人グループと、にぎやかな空気にあふれています。笑顔と嬌声に包まれた坊がつるです。

私のように、単独ソコの人たちは、やはりにぎやか場所からは少し遠慮して、距離をあけて自分の陣地を見つけてます。

あ、…いた。あのあたりだ。ソコの村が出来ているじゃないか。ソコ村には人の気配が感じられません。いや、いるのです。けれどテントの中で各自が自分の世界に入っているのです。イヤフォンで音楽を聴き、本を開いたり、スマホをさわっているのは、見えなくても判るのです。だって俺もそうだから…。



編集後記

新しい一年を迎えるにあたり、なにが自分にとっての幸せかを、改めて考えてみた。あたりまえが一番、普通が一番であり、家族、友人、仲間達の健康と笑顔がなによりまじは幸せであるといえようか。

震災以降、なにか社会にできることはないかと考え、特老ホームで月に二回、健康体操教室を完全なボランティアで受け持たせて頂いている。気づけば早や九年目に入ろうかとしている。損得勘定や計算計算のない世界には、自分の中の誇りと恥の精神を見つめる機会をくれる。怒ったり嘆いたりするのは、一生懸命に生きているあかしの形なのだろうけど、どうせなら、笑ったり喜んだりに一生涯懸命に生きていきたいと思う。これぞ、あたりまえが一番、普通が一番ってどういうことじゃないかと思ったりするのです。

(賢)